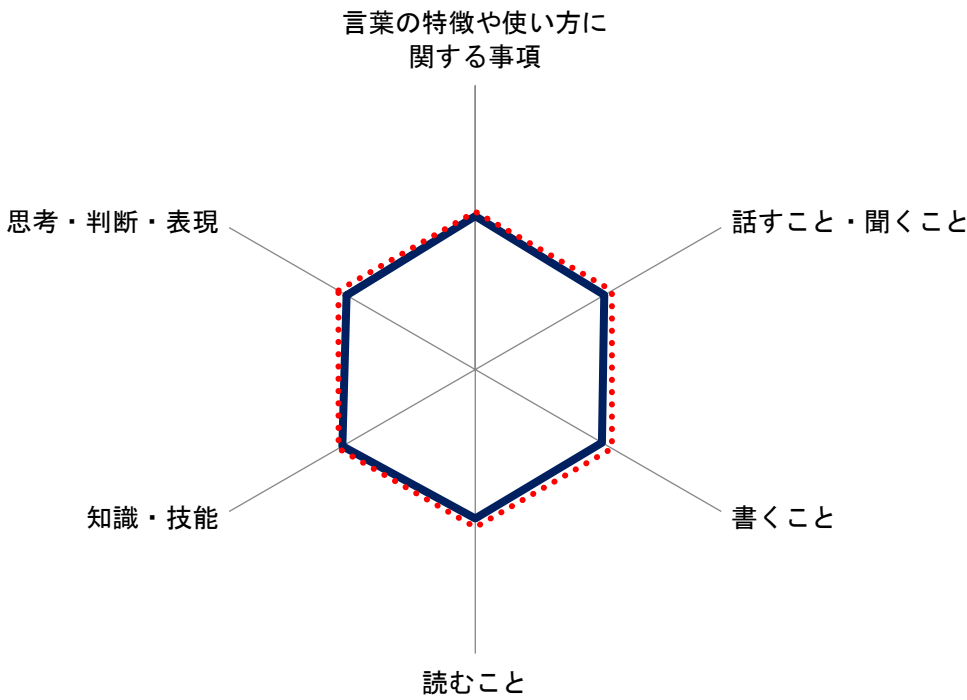


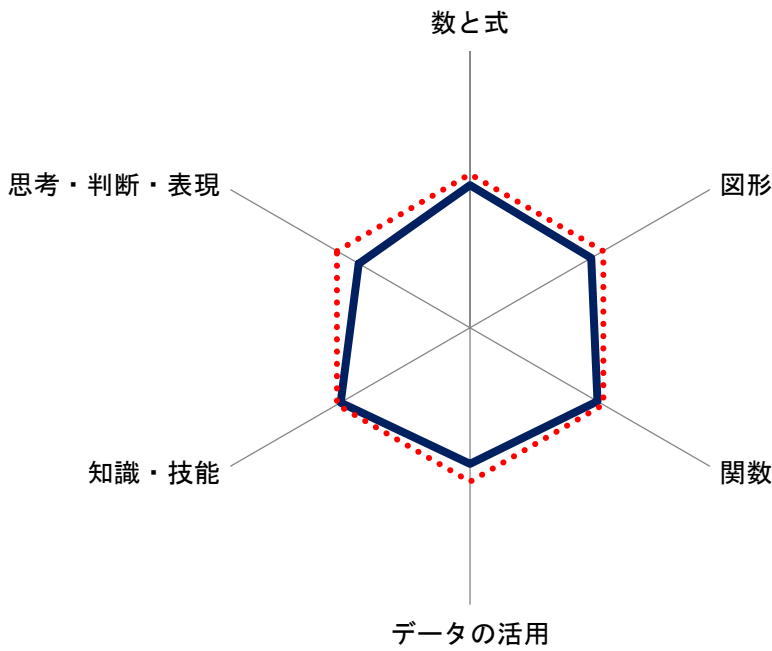
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均



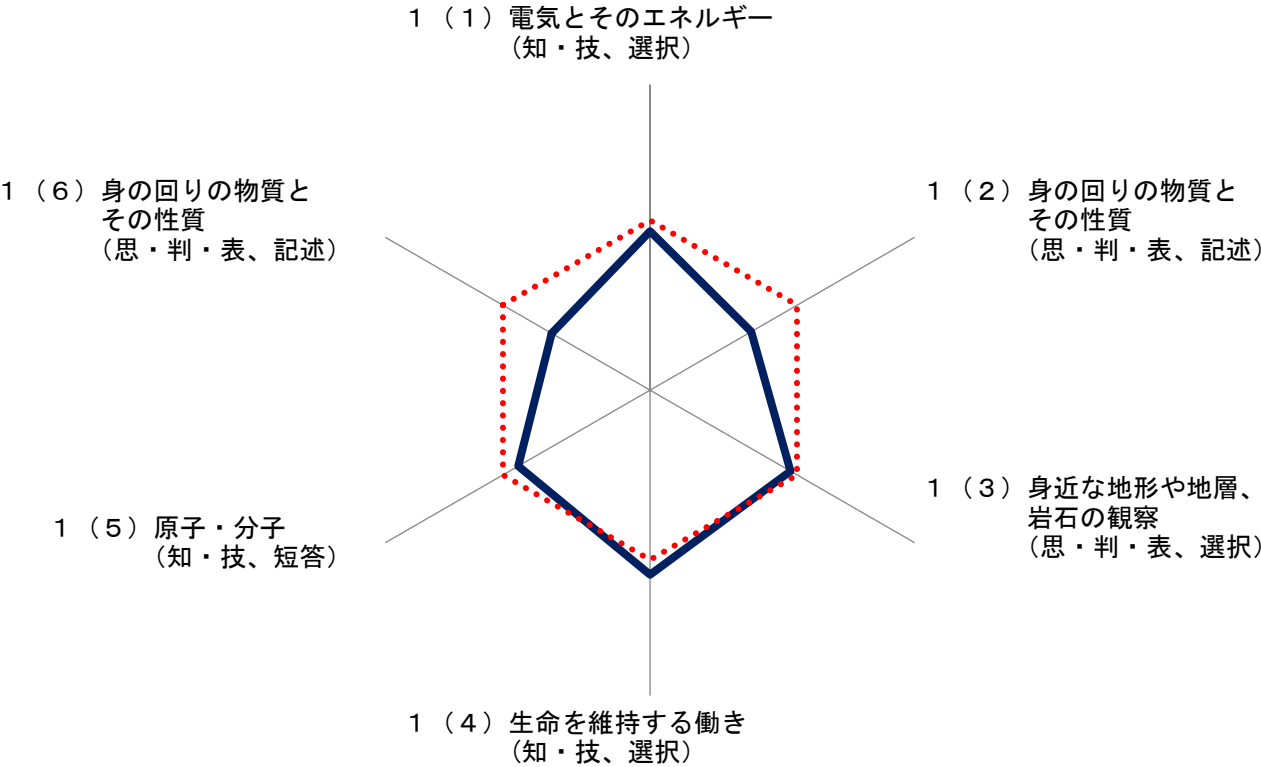
【数学】



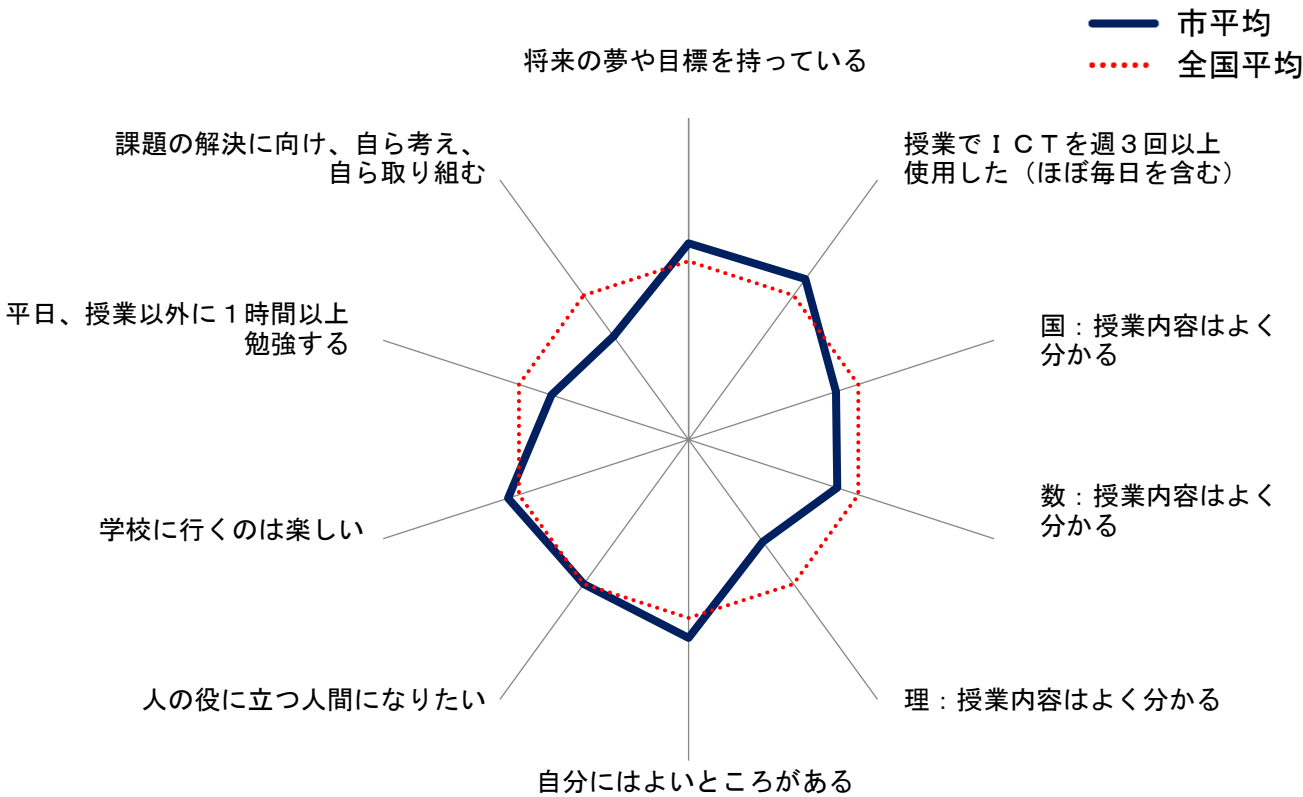
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 市平均
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は昨年度に比べて全国平均との差が縮小し、改善が見られるものの、数学は全国平均との差が大きくなっている。特に数学の「思考・判断・表現」の項目は、全国平均を大きく下回っており、課題である。また、理科は1 (2)、(6) の「身の回りの物質とその性質」に関する問題に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行って成果と課題を明確にするとともに、知識及び技能の習得と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の育成を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」などの項目が昨年度に引き続き全国平均を上回っており、キャリア教育や自己肯定感を高めるための教育活動の推進の成果がうかがえる。また、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目は、昨年度から大きく改善されている。一方、理科の「授業内容はよく分かる」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」などの項目は、全国平均を大きく下回っている。今後は、アナログとデジタルのベストミックスの観点から生徒の学力向上につながるICTの効果的な活用の在り方を研究し、生徒にとって「分かる」「できる」を実感できる授業づくりをより一層推進することが望まれる。